日本スポーツマスターズ２０２４長崎大会
水泳競技　監督者会議資料　Ⅱ

1.　競技について

(1) 本競技会は、2024年度（公財）日本水泳連盟 競泳競技規則に準じて行います。
(2) メインプールは50m×8レーンの公認プールとし、水深は2m、水温28度とします。
(3) 競技は8レーンで行い、タイムスケジュールどおりに行います。
(4) 競技順序は75歳区分から70、65、・・30、25歳区分の順で行います。
(5) 競技成立後、競技役員の指示により、速やかに横退水してください。
(6) リレーの引継ぎ判定は、PT-8000により判定します。
(7) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチしてください。
(8) 競技に参加する選手は必ず招集員の点呼を受けてください。
※　第一招集は、25mプールサイドにて種目確認を行います。第二招集は8レーン側プールサイドにて行います。招集は当該競技開始20分前より行い、5分前に終了しますので、それまでに必ず招集員の点呼を受けてください。点呼を受けた後、招集所を離れた場合、棄権と見なされ出場できないことがあります。また、招集所で水着の確認を行います。
(9) 棄権する場合は棄権届を記入し、当該競技の開始1時間前までに必ずリゾリューションデスク（2階スタンド入口）に届け出てください。
(10) リレーオーダー用紙の提出は、競技開始2時間前までにリゾリューションデスクに届け出てください。なお、リレーオーダー用紙の提出は1回のみとしますので予めご承知おきください。
※　大会1日目のリレーオーダー用紙は9月6日の監督者会議後に受け付けます。また、2日目のリレーオーダー用紙は9月7日の競技終了後から17時までリゾリューションデスクで受付いたします。オーダーに変更がある場合、当該競技1時間前までにリゾリューションデスクへ変更届を提出してください。
(11) 競泳競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程を遵守してください。
(12) 障がいをお持ちの方は、日本水泳連盟ＨＰ日本スポーツマスターズのページで「日本スポーツマスターズ2024における救済（特別）措置について」にて障がい者への特別措置を掲載しています。ＨＰから事前申告用紙を印刷し監督者会議までに申請を行ってください。
(13) すべての届け出用紙は、リゾリューションデスクにもあります。

2.　申告および異議申し立てについて

＜申　告＞

以下に該当する方は、出場種目開始予定時間の1時間前までにリゾリューションデスクへ申告ください。

(1) テープ等をされる方
提出書類：出場申告用紙　＜審判長の確認が必要です＞
ア．怪我によって必要な場合、1本または2本の手の指、足の指にテーピングをすることは認められます。
イ．上記を含めやむを得ず使用の承認が必要な場合は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態でリゾリューションデスクへお越しください（関節を固定するテーピング、筋肉を補強するテープ等は基本的に許可できません）。
(2) 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
提出書類：出場申告用紙　＜審判長の確認が必要です＞
ア．申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。

イ．申し込み時に申告した方で当日再確認の連絡を受けている方もリゾリューションデスクへお越しください。

(3) 出場に介助者が必要な方

提出書類：ＡＤカード申請書(介助者用)

※ チームにて介助者の対応をしてください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可)。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

＜抗議について＞

次の場合、競技に関する抗議ができます。

(1) 規則や競技会における規定が、順守されていなかった場合。

(2) 発生事象が、競技会の主催者や他の競技者によって引き起こされた場合。

(3) 審判長の判断に納得できない場合。ただし、明らかな事実に対する抗議は認められない。

ア．抗議は、抗議書を提出しなければなりません。抗議書の提出は、チームの責任者が行ってください。チーム責任者以外は抗議できません。

イ．競技開始前にあらかじめ予見される事項についての抗議は、審判長の競技開始の合図が発せられる前までに提出してください。

ウ．競技の失格内容や状況等についての抗議は、ランキング発表後 30 分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料として預かり金 50,000 円を添えてリゾリューションデスクに提出してください。

エ．提出された抗議書は審判長が検討し、抗議を棄却した場合審判長が口頭で説明します。審判長の判断に異議がない場合、預かり金は、主催団体に徴収されます。

オ．審判長の下した判断に不服がある場合は、大会総務に申し立てをすることができます。大会総務は、抗議書の内容を踏まえて、関係した担当者等から聞き取りをした上で最終的な裁定を行います。大会総務が下した裁定は、最終のものとなり、裁定結果はチーム責任者に対して説明されます。

カ．抗議が受理された場合、従前の審判長判断は取り消され、預かり金は返却されます。抗議が棄却された場合、預かり金は主催団体に徴収されます。大会総務において裁定された結果は最終的な裁定である為、異議は認められません。

キ．チーム等により撮影された映像等は審議の資料として採用できかねます。

3. 競技得点等について

(1) 各種目の年齢区分ごとに、第１位から第３位までの者にメダルを授与します。また、第１位から第８位までの者に、賞状を授与します。なお、同一都道府県で３名以上参加しているときは、上位２名までとします。

(2) 合計得点により男女総合成績上位の都道府県を表彰します。

ア．個人種目、リレー種目ともに、１位８点、２位７点、３位６点、４位５点、５位４点、６位３点、７位２点、８位１点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とします。

イ．合計得点は個人種目上位２名とリレー種目１チームの合計得点とします。

ウ．合計得点が同得点の場合は、次のとおりとします。

- リレー得点の多い方
- 入賞者数の多い方（リレー種目は４と計算する）
- １位の数の多い方
- 以下８位までこれにならう

(3) リレー種目について

ア．リレー種目は、泳者４名の暦年齢の合計とする。なお、リレー種目への参加は 79 歳までとします。

イ．リレー種目出場者は、同一リレー種目に二つ以上の年齢区分から出場できません。

ウ．リレー種目は都道府県１チームのみとし、これ以外はオープン参加とします。

4. 水着について（詳しくは大会プログラムを参照）

(1) World Aquatics (FINA) のシールの貼ってある公認水着を使用します。違反者の記録は得点・順位に反映せずに参考記録(オープン扱い)とします。また、この競技会は各都道府県を代表しての出場であるため、競技会の会場内で着用および持ち込むものにつけられる所属名称は、それぞれが代表する都道府県の名称・マークとなります。マスターズチームの名称や関係のない名称・マークのついたものを着用・持ち込んだ場合は、参考記録（オープン扱い）または違反として失格となります。

(2) 水着で World Aquatics (FINA) のシールが剥がれている物はメーカー名と品番を確認できる書面を招集へ提出してください。

(3) 着用できる水着は１枚のみとし、重ね着は認めません。キャップを重ねることは認めます。

(4) 水着あるいは身体へのテーピングは禁止します。

(5) 水着への二次加工は禁止します。

5. マークについて（詳しくは大会プログラムを参照）

(1) 水着およびウエアー、持ち物には、それぞれ利用の異なる毎に、次の名称・マークを付けることができます。

ア．自分の氏名や所属チーム（県名）の名称・マーク

イ．オリンピックや世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク

ウ．国旗・国または地域の名称（自国でなくても良い）都道府県や市町村の名称・マーク

エ．公式競技会及び公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの

オ．水着には、30c ㎡以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーのロゴマークをウエストより上部に１個、下部に１個付けることができる。但し、これらのメーカーのロゴマークは、相互に隣接して置いてはなりません。ツーピースの水着には、上部に１個、下部に１個付けることができます。前記「ア～エ」までの所属チーム等の名称・マークの大きさに制限はありませんが、競泳競技の水着に付ける所属チーム等の名称・マークは 50c ㎡以内で１個とします。

カ．ウエアーには、40c ㎡以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーのロゴマークを１個付けることができます。

キ．その他持ち物には、20c ㎡以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーロゴマークを１個付けることができます。

ク．皆さんがこの規則に違反していると思われるときは、大会総務や競技役員が注意をします。その際は直ちに、以下の方法をとってください。

- その違反対象物を使わないようにする。
- テープなどを使い（水着は除く）見えないようにする。

ケ．注意されても従わない場合は、失格・当該競技会への出場を取消・競技者登録を抹消されるなどの処分を受けることになります。なお、本件に関して疑問や不服がある場合は大会総務に書類で申し出てください。

6. 開始式、閉会式および表彰について

(1) 開始式・閉会式に参加される場合は、都道府県ごとにスタンドに着席してください。

(2) 都道府県の男女総合得点により１位～8 位の団体を（公財）日本水泳連盟が表彰します。表彰は全競技終了後に行います。1 位～8 位の団体代表者(1 名)は第２招集所に集合してください。

男子および女子別の得点順位は発表のみとなります。

(3) 開始式・閉会式時間
ア．開始式は、第1日目9時から行います。
イ．連続出場者表彰は9時20分から行います。
ウ．閉会式は、第2日目14時25分から行います。
エ．閉会式に参加しない都道府県は事前にリゾリューションデスクまで申し出をお願いいたします。

(4) 各種目の年齢区分ごとに1位〜3位までの者にメダルをレース終了後にプールサイドにて授与します。

(5) 各種目の年齢区分ごとに1位〜8位までの者に賞状を授与します。賞状は、賞状引渡所で各競技終了後30分以降にお受け取りください。(都道府県別にまとめてあります)

(6) 世界新記録の申請、日本新記録・世界新記録該当者の着用水着については、大会プログラムで確認してください。

7. 施設使用上の注意

(1) ＡＤカードは発行しませんが、ご家族・付添を除き選手・関係者以外は選手・監督・コーチエリアへの入場はできません。

(2) メインスタンドは都道府県ごとにてエリアを指定されていますが、譲り合って使用してください。また、動線を守ってください。

(3) プールを使用した際は、更衣室に入る前に水気を充分に拭き取ってから、通路に出てください。

(4) 更衣室ロッカー（10円）を使用する際は必ず施錠して下さい（盗難防止のため）。鍵を紛失しないようご注意下さい。鍵を紛失した場合は実費1,500円が徴収されます。

(5) 更衣室を控え場所としたり、食事を摂ったりすることはできません。

(6) 置き荷物は、忘れ物として扱います。競技会終了後、忘れ物は、長崎県水泳連盟事務局（0957-56-8861）にて保管、9月10日（火）正午をもって廃棄します。

8. その他

(1) ごみは各自ですべてお持ち帰りください。

(2) 館内は外プールを含め、1Ｆプールアリーナ内は競技役員・補助員を除き履物は厳禁です。履物は全て更衣室入り口の靴箱に入れるか各自袋に入れてお持ちください。厳守願います。

(3) 盗難防止のため、貴重品の管理は各チーム・各自で確実に行ってください。

(4) 会場は平和公園の一部のため周辺一帯は禁煙です。喫煙はエリア外の場所で行ってください。

(5) 公式スタート練習で代理人による順番待ちは禁止します。

(6) プール専用の駐車場はありません。原則公共交通機関を利用してください。自家用車で来場された方は、できる限り松山町駐車場を避け、近隣の駐車場をご利用ください。

(7) 連続出場者表彰について
ア．1日目（9月7日）開会式直後、9：20より連続出場者表彰を行います。
イ．受賞者は表彰控え所（メインプールスタート側）へ8:50までに集合してください。
ウ．表彰後、プールサイドで記念写真を撮影しますので、係員の指示に従ってください。

(8) 斡旋弁当について
ア．弁当引換所は会場外の入り口付近です。時間厳守で受取・容器返却をお願いします。
イ．斡旋弁当配布時間 11：00〜13：00
ウ．弁当容器回収終了 7日15：00　8日14：00　※弁当引換所に返却してください。

(9) 監督および責任者は大会当日の選手の緊急時の連絡先（本人以外の電話番号と氏名）と斡旋弁当について確認しておいてください。

(10) 大会期間中の怪我などの対応はプログラムをよく読んでください。

(11) アンケートへのご協力をお願いします。配布物に含まれる大会アンケートのご案内に従い提出願います。